

結城紬産地振興人材育成研修



図1 結城紬 研修作品

【内 容】

本研修は、茨城県の地場産業である結城紬の生産技術者育成を目的として実施しました。

結城紬は分業による生産体制となっています。しかし、技術者の高齢化に伴う就業人員の減少などにより、将来的に複数の生産工程を担える人材の育成が産地の課題となっています。

そのため、本研修でも地機の製織技術を中心に染色や下ごしらえなどの実習も充実させることで、一連の生産技術に関する基礎知識を有した担い手の育成に力を入れています。

表1 研修内容

カリキュラム	主な内容 (研修日数: 200 日程度)
機織基礎座学	結城紬生産工程、繊維基礎、織物設計方法
機織基礎	機結び技術、地機製織基礎技術
結城紬Ⅰ(帯地)	染色技術、下ごしらえ技術(下糊付け、繰り返し、整経、本糊、箆通し、機巻き、前結び、掛け糸掛け、小巻き、かしあげ)、製織
結城紬Ⅱ(着尺地)	
結城紬Ⅲ(着尺地)	
緋製織基礎講座	図案基礎、緋の構造
緋製織	100 帯状又は飛び緋機織実習、緋合わせ技術実習



図2 下ごしらえ(整経)実習



図3 地機製織実習

【研修の成果】

今年度は4名の研修生を受け入れました。研修修了後は、結城紬製造企業に所属し、地機製織の即戦力として生産に携わっていくことになります。

これまでの研修修了生は、毎年開催される茨城県本場結城紬織物協同組合主催の「本場結城紬作品展」に数多く入選しており、産地内でも高い評価を得ています。

織手として経験を積んだ修了生の中には、伝統工芸士の認定の取得や緋括りなどの技術習得、またオリジナル製品の製造に取り組み始めた方もおり、今後の産地を担う人材として活躍が期待されています。

基礎となった事業

令和4年度 人材育成事業

担当グループ

繊維・紬G

グループ長

篠塚 雅子

TEL:0296-33-4154

主任研究員

中野 睦子

会計年度職員

渡邊 直子